**病態検査学講座**

**教育・研究及び管理運営等に関するアンケート**

候補者 現職

 氏名

1. **教育（非常勤も含む）**
2. **以下の項目について，実績あるいはお考えを記載して下さい．**
3. 学生（大学院生を含む）に対する講義，実習経験（担当科目と担当年数）

担当科目　学生区分　　　 講義・演習・実習区分 　担当コマ数/年　担当年数

例）総合○○学　保健学科3年生　講義 　　　 　　 3コマ/年　　 　10年

1. 上記担当科目のうち，科目責任者（シラバス記載）があれば，その科目名
2. 学生による講義評価があれば，その総合評価点数（可能な範囲で，過去5年まで）
3. 学生の評価方法について

**２）臨床検査技師養成の教育機関においてもOSCE（客観的臨床能力試験）を行う又はコア・カリキュラムを制定する方向で議論が進んでいますが，お考えを記載してください．**

**２．　研究**

**以下の項目について，実績あるいはお考えを記載して下さい．**

* 1. 研究指導実績（できるだけ具体的に．大学院での学位指導含め）
	2. 施設内における専門的な研究グループの指導的位置にあるとすれば，その名称と年数を記載して下さい．
	3. 他施設との共同研究の実績（研究グループを結成しているなら，その名称，役割および年数）
	4. 提出いただいている研究業績目録の中で，Web of Scienceによる被引用回数の多い順に10編の原著論文とその被引用回数（論文の記載様式は研究業績目録と同様で，筆者名，雑誌名なども記載）
	5. 臨床化学，検体検査学，臨床免疫学に係る業績（著書・原著・総説・その他）

　（例）

(原著)

1. 鳥大太郎，大山直之．

臨床化学における新規評価法の開発．

日本○学会雑誌 8：111-124, 2018.

* 1. 臨床化学，検体検査学，臨床免疫学に係る業績（招待講演，特別講演、教育講演、上級演題（シンポジウム，ワークショップ）の発表等）

　（例）

1. 鳥大太郎，米子睦美．

検体検査学の課題．

第○回日本○学会　シンポジウム，東京，2017.7

2. 鳥大太郎．

臨床免疫学の現状と取り組み．

2018年度○○大学講演会，東京，2018.7

* 1. 臨床化学，検体検査学，臨床免疫学に係る科研費等の研究費取得

（例）

1. 2018年度 文科省科学研究費（基盤一般C）

臨床化学検査学における新たな手法とその効果に関する研究，468万，代表者

* 1. これまでのご自分の研究の特色と今後の研究における抱負を述べて下さい．鳥取大学に赴任した場合の研究の継続性についても触れて下さい．

**３．　大学・施設の管理運営**

**大学・施設内における役職，各種委員会の名称と年数**

 　 (注)管理・運営関係以外で特記すべき役職経験があれば余白にお書き下さい．

　　　　役職名　　　　　　　　　　　 年数

**４．　鳥取大学医学部にご赴任になった場合の講座の運営方針**

* 1. 病態検査学講座を担当する上での教育に関する抱負を述べて下さい．
	2. 病態検査学講座は大講座です．講座内に複数の教授がいる中での研究における抱負について記載して下さい．
	3. 病態検査学講座は大講座です．講座内に複数の教授がいる中での講座運営における方針について記載して下さい．

**５．　その他参考となる事項があれば，記載して下さい．**

（これまでに査読した論文の雑誌名など．履歴書および研究業績目録の記載内容との重複は避けること．）